

令和6年4月22日

## 教員の公募について

国立大学法人 三重大学  
大学院生物資源学研究科長  
〔公印省略〕

本研究科において、下記要領で教員を公募いたします。

### 1. 職名・募集人員

准教授もしくは助教1名

### 2. 勤務形態

常勤（任期なし）

### 3. 所属

資源循環学専攻・農業生物学講座・昆虫生態学教育研究分野

### 4. 講座および教育研究分野の教育と研究内容

資源循環学専攻では、持続的な社会の基盤としての生物資源を環境に配慮した方法で循環的に利用するための、技術の開発や新しい社会のデザインをすることができる人材を育成することにより、調和のとれた循環型社会の構築に貢献することを目指しています。このため、生物の生命の仕組み、それらの生物を取り巻く環境、生物多様性についての学問を通して、生物資源の持続的利用に関する教育・研究を行っています。農業生物学講座では、農学の考え方を出発点として、そこから新たに発展した生物科学を様々な視点から追究し、世界的な食料問題の解決や緑豊かな環境の維持を目的とする基礎から応用までの教育・研究を行っています。

その中で、昆虫生態学教育研究分野では、農業害虫としての昆虫の研究にとどまらず、花粉媒介者や天敵など、益虫としての昆虫の有効利用をはかり、また保全するため、フィールドワークを基本とした生態学的研究を進めています。また、飼育実験や各種機器を用いた観察・分析、現代的な統計手法の採用も積極的に進めています。さらに、日本国内にとどまらず、海外での研究や外国人留学生の受入にも注力しています。

### 5. 担当予定授業科目

（学部）植物保護学，資源循環学演習，農林統計学，フィールドサイエンスセンター農場実習，農業生物学実験，卒業研究 など

（大学院博士前期課程）昆虫生態学特論，農業生物学演習，農業生物学特別研究 など

（大学院博士後期課程）昆虫機能生態学，特別演習，特別実験，特別調査研究 など

## 6. 応募資格・条件

- (1) 博士の学位を有し、博士前期・後期課程の学生の指導に熱意を持って取り組めること。また、学部学生の実験（昆虫生態学分野）が担当できること。
- (2) 昆虫生態学に関する優れた研究実績を有すること。
- (3) 最新の統計学的手法を使った生態学的研究を遂行し、教育できること。
- (4) 学部および研究科の教育研究を日本語と英語で行うことができること。
- (5) 地域圏大学としての三重大大学の目標を理解し、地域の振興に資する研究と人材の育成に積極的に取り組む意思があること。

三重大学では、多様な人材の積極的な応募を歓迎します。

※本学では、「三重大学ダイバーシティ&インクルージョン推進宣言」（令和4年12月27日）を行い、学内保育園や研究補助員配置など研究教育環境の整備やワーク・ライフ・バランス支援の取り組みを積極的に推進しています。詳しくは下記のURLをご参照ください。（<https://www.mie-u.ac.jp/danjo/wlb/>）

## 7. 応募書類（いずれもPDFで提出）

- (1) 履歴書（写真貼付）※本学指定の様式に限る。
- (2) 業績目録（原著論文、著書、総説、その他について、項目ごとに分けて発表時期の新しいものから順に並べ番号を付すこと）。原著論文については、自らの貢献度や実際に担当した部分について説明する文章（各100字程度）を添えること。
- (3) 上記業績目録に掛かる別刷（代表的なもの10編以内）
- (4) 研究費獲得実績、プロジェクト参加実績一覧
- (5) 教育実績一覧
- (6) 社会連携に関する実績一覧
- (7) 管理運営に関する実績一覧
- (8) これまでの教育研究活動に関する概要（1000字程度）。業績目録（2）の原著論文の文献整理番号を引用のこと。
- (9) 着任後の教育研究活動に関する抱負（1000字程度）。特に学部学生に対する昆虫生態学教育における自らの取り組みについて説明してください。
- (10) 応募者の連絡先（住所、電話番号、電子メールアドレス）
- (11) 応募者についての照会先（2名：氏名、所属、役職、電話番号、電子メールアドレスなど）

## 8. 応募期間 令和6年4月22日（月）～令和6年6月21日（金）

## 9. 選考方法

書類審査を主としますが、選考の過程で面接を行う場合があります。面接の場合の旅費は、自己負担となります。

## 10. 着任時期

令和6年10月以降のできるだけ早い時期

### 1 1. その他

給与は三重大学年俸制適用教員給与規程による年俸制とし、年俸額は採用候補者の経歴などを勘案して決定されます。

※本学では、男女共同参画社会基本法の趣旨に則り、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。なお、選考に際し、男女雇用機会均等法第8条（女性労働者に係る処置に関する特例）の規定により、業績（研究、教育、社会貢献等）及び人物の評価において同等と認められる場合には、女性を優先的に採用します。

### 1 2. 応募書類提出要領

電子データでの提出。応募希望の方には提出用 URL をお送りしますので、下記メールアドレスに6月19日（水）までにご連絡下さい。なお、メールの件名には「農業生物学講座・公募書類提出用 URL 希望」と記載すること。

三重大学大学院生物資源学研究科 資源循環学専攻  
専攻長 教授 中島 千晴

E-mail: [chiharu@bio.mie-u.ac.jp](mailto:chiharu@bio.mie-u.ac.jp)

### 1 3. 問い合わせ先

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577

三重大学大学院生物資源学研究科 資源循環学専攻 農業生物学講座  
講座主任 教授 松井 宏樹

TEL : 059-232-1211（三重大学代表）

E-mail: [matsui@bio.mie-u.ac.jp](mailto:matsui@bio.mie-u.ac.jp)

### 1 4. 参考

農業生物学講座教員一覧（令和6年4月1日現在）

教育研究分野	教授	准教授	助教
分子遺伝育種学	掛田 克行		
資源作物学	梅崎 輝尚	長屋 祐一	
園芸植物機能学	名田 和義		
動物生産学	松井 宏樹	伴 智美	
草地・飼料生産学		近藤 誠	
植物医科学	中島 千晴	白水 貴	
昆虫生態学	塚田 森生	(本公募)	

生物資源学研究科のホームページ

<https://www.bio.mie-u.ac.jp>  
資源循環学専攻のホームページ  
<https://www.bio.mie-u.ac.jp/academics/master-15/dep01/>

以上